

平成 26 年度のリユース実態調査報告
 (第 16 回研究会でのご意見と対処方針)

平成 26 年度のリユース実態調査(中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査、インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査)について、第 16 回研究会にていただいた主なご指摘事項及び対処方針案を整理する。なお、研究会後に個別にいただいたご指摘も合わせて整理している。

資料	ご指摘事項	対処方針
中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査	・資源回収、集団回収は具体的に何を指しているのか。 (佐々木五郎委員)	資源回収、集団回収の意味を本文中に追加致しました。 (参考資料 2 p2)
	・市町村の回収に関するマテリアルフローが不十分である。自治体が中古衣料を回収した後どのようにしているのか、又、輸出者はどこから中古衣料品を得ているのかという図表を載せると繋がりが見てくるのではないだろうか。 (佐々木創委員)	市町村の回収後のフローに関する記述及び図を本文に追加致しました。 (参考資料 2 p3)
	・まとめについて、中古衣類のフローを再整理するとともに、中古衣類のリユースの仕組みの特徴にも着目して整理するのが良いのではないか。 (手塚委員)	ご指摘を踏まえて、まとめの書きぶりを修正しました。 (参考資料 2 p12~13)
インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査	・B 社の書籍の宅配買取実績を掲載しているが桁が違うのではないか。1 件あたり 100 冊程度が平均であると思われる。 (黒田委員)	ご指摘の通り、グラフ表記にミスがございました。お詫びとともに修正させていただきます。(1 件あたり 114 冊となります) (参考資料 3 p21)

(以上)